

川の市民情報

6

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM 事務局 URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL 045-503-4015 FAX 045-503-4092 E-Mail keihia50@ktr.mlit.go.jp

これから出水期になります。

日本列島は複雑な大陸プレートの上に乗っているの、急峻な地形が多く、安定した地質帯が無く、脆く不安定な地質が多くなっています。さらに台風・モンスーン地帯に当たるため、河川や崩壊による侵食が著しい状況です。また、河川の出水期と渇水期の流水量の差が非常に大きく、出水期に洪水が発生しやすいのです。そこで集中豪雨（梅雨）、台風等洪水の起きやすい「6月1日～10月31日」の間を出水期として、洪水に対する備えをします。



洪水時



平常時

川を安全に楽しむために！

1 川に行く前に

- 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ！
- 途中のコンビニなどで、川のパンフレットなどが置いてあれば参考にしよう。
- 川に入る場合は、ライフジャケットなどの活動に合った準備をしよう。

2 川に着いたら

- 川に関する看板があれば確認しよう。
- 地元の人がいれば、川の特徴を教えてもらおう。
- 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況についても把握しよう。

3 こんな場所は急な増水に注意！

- 川原は、増水の際は川底になるぞ。特に中州にいると、増水したら取り残されるぞ！

4 すぐに避難！

- 増水の前兆や、警報が鳴ったら直ちに避難しよう！すぐに水位が上がってくるぞ！

注意報や警報がでたら、すぐに避難！避難の遅れは事故につながるぞ！

- パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

こんなときはすぐに避難！

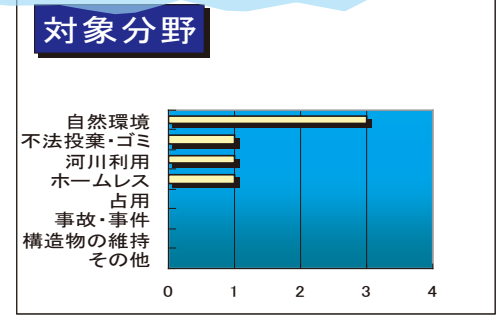
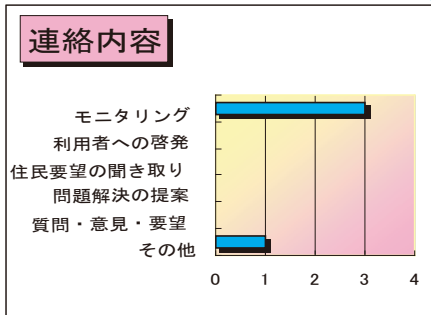
- 山鳴り（山全体がうなるような音）がする。
- 水かさが増え、濁ったり、流木、落ち葉が流れてくる。
- 雨が降っているのに、水かさが増えている。
- 真った土・火災のようなにおいがする。

増水時をイメージしよう！

中州は危険！
増水すると川に取り残されるぞ！

RCM 活動報告 平成 22 年 5 月

管轄区間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	10人	0人	0件
鶴見川上流	11人	0人	0件
多摩川下流	16人	0人	0件
多摩川中流	19人	1人	1件
多摩川上流	16人	1人	1件
相模川	6人	2人	2件
浅川	12人	3人	3件
合計	90人	7人	7件



平成 22 年 5 月は、7 件の報告をいただきました。ありがとうございました。

RCM 横田時平さんからの報告

浅川上流の菜の花

今、浅川上流では殆どのデルタに菜の花が咲いている。はっきりした理由は分からないが、私の考えでは昨年 8 月の洪水の時に種が流れてきたものと思われる。勿論、外来種と思うが、清流の中のデルタに咲く菜の花が非常にきれいなので写真を送ります。



事務局から

黄色い花がきれいですが、写真を見る限り、畑で栽培する「菜の花」とは違う様です。「西洋アブラナ」か「西洋カラシナ」ではないかと現場の担当は言っていますが、それらであれば特定外来種にはなっていないようです。

河川管理者として堤防除草はするのですが、河川の中、中州などは除草の対象とはしていません。外来種が繁殖しにくい様に除草時期などを工夫していますが、今年から除草回数が 2 回/年と 1 回減らされました。浅川に行く機会がありますので、小生も見ておきたいと思えます。よろしく願いいたします。

RCM 斉藤昭典さんからの報告

連休中、河川増水により（雨により）上流より濁りがあり、子ども等が川の中のアソビに危険な状況にありできれば予告していただければ。

5 月 1 日より 5 月 5 日まで主に午前中が多く赤濁りがひどく上流の工事ではと考えられます。

夏日には多くの子どもたちが川遊びに来ます。

事務局から

「川の濁り」の件は、京浜河川管内の工事ではなく、上流の東京都管理区間における工事が原因のようです。当所の工事は、ご指摘の区間より下流です。また、濁りが確認された 5 月 1 日～5 日は、当該工事は休工でした。

梅雨にはいと増水することが多くなり、河川内での工事はできません。梅雨前のある程度進めなければならずこの時期の工事は避けられないかと思えます。

増水に対する予告については、京浜河川事務所ホームページ <http://www.ktr.ml.it.go.jp/keihin/index.htm> で「河川の急激な増水にご注意！」「川の基本情報ーリアルタイム情報ー水位・雨量・ライブカメラ」を掲載し、情報を提供しています。

河川は公共の利益や他人の利用に影響を与えない範囲において、自由に利用する事が出来ます。この様な、釣りや水遊びなどの利用に際しては、利用者の自己責任で安全を確保する事が必要です。しかし、各地で「急な増水」等による水難事故が多く発生していることを踏まえ、河川の利用者が自ら安全確保や危険回避できるように情報発信に取り組んでいます。参考にしてください。

RCM 事務局より

梅雨に入りました。湿度の高いこの時期は、暑いのか涼しいのか判断が難しく、自分にとって、苦手な 1 月半です。その後のカラリと晴れた夏、ビールが旨い？

梅雨時期は河川の急な増水に気を付けて下さい。川を何時もご覧になっている皆様には釈迦に説法かも知れませんが石橋を叩いて渡って下さい。この時期、しつぱりした川の風情も楽しんで下さい。

RCM 担当 埜